

各課所で行われている、県民サービス向上や業務改善に向けた意欲的な取組をレポートします。

公用車集中管理の導入

管財課、財政課

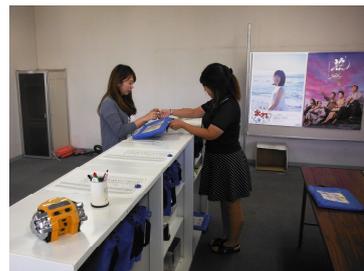
ここがポイント 

- 各部局で行っていた公用車の管理を一元化することにより、管理業務を削減
- 空いている公用車を探す時間と手間が減少し、稼働率が向上

本庁の公用車約270台は、これまで各部局が約10台～50台ずつ管理していました。

このため、各部局において、車両の更新・修繕・点検や、鍵・給油カードの管理等の庶務業務が発生し負担になっていました。また、自部局職員の使用が優先されるため、他部局の公用車は前日午後にならないと予約できず、空いている公用車を探すのに苦労しており、結果的に稼働率が60%程度に止まるなど非効率な状況でした。

そこで、平成27年度予算編成に向けた「事務事業再構築」の一環として、公用車約90台の集中管理を導入しました。今年4月に新設した「管財課共用自動車管理室」に対象公用車の管理を一元化し、職員は所属部局にかかわらず、グループウェアにより60日先まで自由に予約できるようになりました。



公用車の予約・受け渡しをスムーズに

これにより、各部局における管理業務が削減されたほか、予約できる公用車の選択肢が広がり、使い勝手が良くなりました。8月末現在の集中管理対象公用車の稼働率は、約80%となっており、大きく利便性が向上しています。

共用自動車管理室にお話を伺うと、「職員の皆さんに気持ち良く安心して乗ってもらえるよう心掛けています」とのことで、公用車のスムーズな受け渡しや、これまでなかなか行き届かなかった日常的な点検や洗車、職員アンケートによるさらなる改善などに取り組んでいるとのことでした。

自動車税のクレジットカード納税の導入

税務課

ここがポイント 

- パソコンやスマホから24時間いつでも納税できるクレジットカード納税を導入
- 口座振替、コンビニ納税等と合わせ納税手段が多様化され、県民の利便性が向上

税務課では、平成27年度に、自動車税のクレジットカード納税を導入しました。

納税者は、パソコンやスマホで「Yahoo!公金払い」のポータルサイトに接続し、納税通知書に記載されている番号等を入力することで納税できます。(事前登録は不要です。)

利用期間内であれば、24時間いつでも、自宅や外出先からでも納税ができ、また、カード会社への支払いは分割も選択できるなど、とても便利になりました。



導入初年度は早速、約21,500台分と、多くの県民の皆様にご利用いただきました。

自動車税は、年間の税収が500億円を超え、県税収全体の14.1%を占める重要な税金です。

納税手段については、金融機関等の窓口での納税に加えて、これまでも口座振替やコンビニ納税を導入するなど、多様化を図り、利便性の向上に取り組んできました。今回のクレジットカード納税も合わせて、納期内納付率の向上につなげていければとのことでした。

ちなみに、納め忘れの心配がなく便利な口座振替もオススメとのことでした。

行革分権室
から一言

公用車の利用者は職員、自動車税の納税者は県民ですが、いずれも「顧客目線」で利便性の向上を図った取組と言えるかもしれません。あなたの担当業務においてもできることはありませんか。